

いざという時にあわてず行動。  
そなえよう!

# 天草市版 マイタイムライン

マイタイムラインは、大雨や台風などの自然災害から、私たち自身を守るための防災行動計画です。事前に家族の避難計画をまとめておくことで、いざという時にあわてず行動ができます。

**わが家の防災活用メモ** 家族などの情報を書き込んでおきましょう。また、ハザードマップで自宅周辺の浸水想定区域や土砂災害警戒区域等、地震の揺れやすさなどを確認し、「自宅周辺の危険区域」に書き込みましょう。

名前	緊急連絡先		自宅周辺の危険区域	
	会社・学校名	電話番号	洪水	m
			土砂災害	あり・なし
			高潮	m
			津波	m
			地震	震度

**水害のマイタイムライン** 総合防災マップの「避難行動判定フロー」(P.4)を確認して、避難開始するタイミング「避難スイッチ」を決めておきましょう。  
作成日： 年 月 日

**平常時の備え**

【避難場所】 ( ) 分

【防災訓練】 訓練に参加

【防災情報】

【避難準備】裏面の「避難の準備」、総合防災マップの「日頃の備え」(P.1)を確認する。 ( ) 分

【その他】

**警戒レベル 3** (半日～数時間前) 大雨・洪水警報、(高潮警報に切り替える可能性が高い) 高潮注意報/避難判断水位

**高齢者等避難**

☐ 避難スイッチ

《基本行動》

- 避難の準備をする。
- 避難場所の開設状況を確認する。
- 高齢者等と一緒に避難を開始する。

**警戒レベル 1** (2～3日前) 早期注意報(警報級の可能性)

《基本行動》

- 風で飛ばされそうなものを整理する。
- 気象情報を確認する。
- 備蓄品の確認と買い出しをする。
- 家族の予定を確認する。

**警戒レベル 4** (1～2時間程度前) 土砂災害警戒情報、高潮警報、高潮特別警報/氾濫危険水位

**避難指示**

☐ 避難スイッチ

《基本行動》

- 近所の〇〇さんに避難することを伝える。
- 避難完了を家族、親戚へ連絡する。

**警戒レベル 2** (前日) 大雨・洪水・高潮注意報/氾濫注意水位

《基本行動》

- 総合防災マップで避難場所と避難経路を確認する。
- 携帯電話の充電をしておく。
- 親戚に避難予定の連絡をする。

**【ポイント】** 警戒レベル3(相当)の発表時間を確認し、夜間に警戒レベル4(相当)となる見込みのある場合は、避難開始を早める

**警戒レベル 5** (災害発生または切迫)

**大雨特別警報 緊急安全確保**

★もし、避難できていない場合は、緊急的に安全を確保できる場所や建物の2階以上に移動

※ ( ) 書きの時間は、あくまでおおよその目安です。  
※警戒レベルは、1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

保存版 有明地域版

# 天草市

AMAKUSA CITY HAZARD MAP

# 総合防災マップ



**目次**

日頃の備え .....1-2	土砂災害 ..... 8	洪水・土砂災害ハザードマップ ... 13-26
いざというときは .....3-5	高潮 .....7-8	高潮ハザードマップ .....27-32
有明地域 避難所一覧 .....6	地震・津波 ..... 9-10	津波ハザードマップ .....33-38
洪水 .....7	ハザードマップの見方 .....11-12	ため池ハザードマップ .....39-40

**もしもの連絡先**

	110番(警察)	119番(救急)	118番(海上)
<b>天草市有明支所</b> ... ☎53-1111			
<b>天草市役所</b> ... ☎23-1111			
		天草広域連合消防本部 ... ☎22-0119	
		中央消防署有明分署 ..... ☎53-0119	
		天草警察署 ..... ☎24-0110	
		天草有明駐在所 ..... ☎53-0040	
		熊本海上保安部 ..... ☎0964-52-3103	
		天草海上保安署 ..... ☎73-4999	
		熊本県天草広域本部 ..... ☎22-4111	

あなたのご家庭の連絡先

# 家族で、地域で備えましょう!

## 日頃の備え



### 家族で防災会議

災害は家族が一緒にいるときに起こるとは限りません。いざというときに、あわてず行動できるよう家族で普段から話し合っておきましょう。また、災害に備えて家の中と外とをチェックし、危険な箇所は早めに改善するようにしましょう。

#### チェック! 話し合いたい項目

※乳幼児・高齢者・病人・妊婦のいる家庭や、ペットを飼っている家庭はその避難方法も話し合しましょう。

家の付近の浸水状況や、土砂災害のおそれのある箇所の確認

災害が起こった時の身の守り方

家族間の連絡方法と、最終的に出会う場所

災害別の避難行動

指定されている避難所等とそこへ行くまでの経路の確認

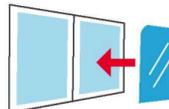
家族一人ひとりの役割分担

家族の安否確認、非常持出品・備蓄品の準備・点検、避難経路の確保、隣近所への連絡など

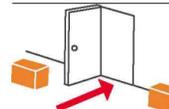
### 我が家の安全対策を確認しましょう

安全と思われる家の中や家の周りでも、災害時に避難や救助の妨げになったり、落下物によるケガなどの被害を引き起こすおそれがあります。災害に備えて日頃から点検する習慣をつけましょう。

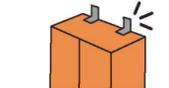
#### 家の中の安全対策



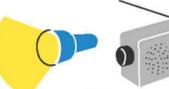
● 飛散防止フィルムを貼るなどガラスの飛散を防止する。



● 出入口付近には荷物を置かず避難口を確保する。



● 家具の転倒、落下防止のため、金具などで固定する。



● 停電に備えて、懐中電灯や携帯ラジオと予備の電池を準備しておく。



● 重い荷物は高い所に置かず、床に置いておく。



● タコ足配線やコードを束ねて使用しない。



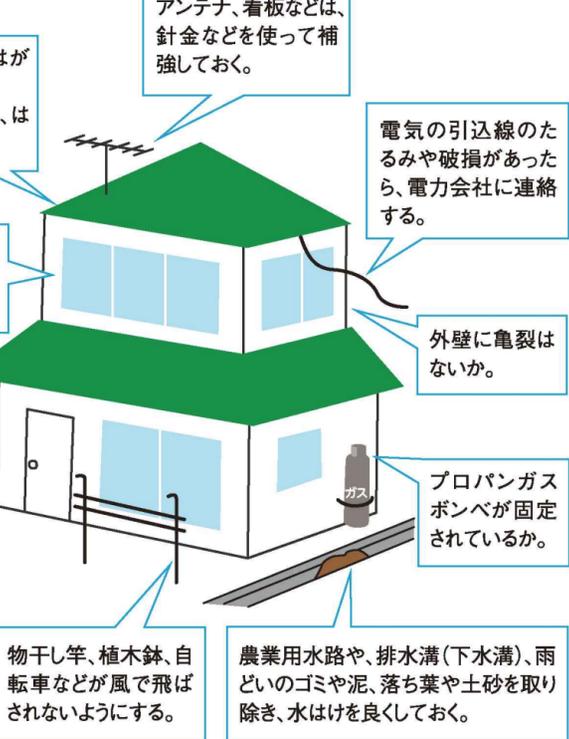
● 住宅用火災警報器、消火器を設置しておく。

#### 家の周りの安全対策

瓦の割れ、ずれ、はがれはないか。トタン屋根のめくれ、はがれはないか。

窓枠のがたつきはないか。ひび割れはないか。

ブロック塀にぐらつきや亀裂はないか。



アンテナ、看板などは、針金などを使って補強しておく。

電気の引込線のたるみや破損があったら、電力会社に連絡する。

外壁に亀裂はないか。

プロパンガスボンベが固定されているか。

物干し竿、植木鉢、自転車などが風で飛ばされないようにする。

農業用水路や、排水溝(下水溝)、雨どいのゴミや泥、落ち葉や土砂を取り除き、水はけを良くしておく。

### 家屋の浸水を軽減しましょう

簡易水防工法は、家庭にある物を使って家屋の浸水や流入を防ぐ方法です。水深が浅い段階では有効です。玄関などの出入口のみならず、床下への浸水の防止にもなります。

#### ● ゴミ袋による簡易水のう

40リットル程度の容量のゴミ袋を二重にして、中に半分程度の水を入れて閉めます。これをダンボール箱に入れ、連結して使用します。



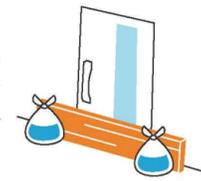
#### ● ポリタンクとレジャーシート

10リットルまたは20リットルのポリタンクに水を入れ、レジャーシートで巻き込み、連結して使用します。



#### ● 止水板

出入口に長めの板などを設置し、浸水を防ぎます。



### 自主防災組織で地域を守る

天草市では、多くの地域で自主防災組織を結成しています。災害が発生した場合に備えて、防災・減災に関するさまざまな活動を行っていますので、皆さんもぜひ参加しましょう。

#### 平常時の活動

● 作ろう、参加しよう、育てよう! 隣近所などで、互いに助け合い、協力し合える体制づくりをしましょう。



● みんなで学ぼう! 防災に関する知識を身につけましょう。想定される災害と対応について話し合しましょう。



● 地域を点検しよう! ・消火栓の上や防火水槽の近くに、障害物はありませんか? ・避難場所を皆さんが知っていますか? ・避難経路に危険な場所はありますか?



● 訓練をしよう! ・初期消火訓練 ・避難所の開設・運営訓練 ・避難者の誘導訓練



#### 災害時の活動

- 初期消火活動 身の安全を第一に考え、消火器などを用いた初期消火の実施
- 避難誘導支援 高齢者や障がいをお持ちの方々などへの避難誘導の支援
- 救出・救護活動 まず身の安全を確保し、その後被災者の救出や救護活動の支援
- 情報の収集・伝達 災害に関する正しい情報を収集伝達し、支援活動などを実施
- 避難場所の支援 水や食料などの配給支援や炊き出しなどの活動支援



### 災害時避難行動要支援者の支援制度

災害時に自ら避難することが困難であり地域住民による避難支援等が必要な人のために、避難行動要支援者支援体制の強化を目的に、災害時避難行動要支援者名簿を作成し、地域における共助の取り組みを行っています。

### 非常持出品・備蓄品リスト

非常持出品・備蓄品の準備は防災対策の基本です。リストを参考に、家族構成に合わせて準備しましょう。また、食品の賞味期限や電化製品の故障がないかを定期的にチェックすることも忘れずにしましょう。

#### チェック! 非常持出品

あまり重いと避難に支障が出るので、必要最小限にまとめ、すぐ取り出せる場所に保管しておきましょう。

ヘルメット・防災ずきん 落下物から頭を守るための必需品



貴重品 預金通帳、健康保険証、免許証(番号を控えたメモかコピー)、現金



救急医薬品・常備薬 キズ薬、ばんそうこう、おくすり手帳、その他の薬など



懐中電灯 ※予備の電池も準備 停電時や夜間の移動に欠かせない。できれば1人に1つ用意



リュックサックなど 非常品を入れて両手が確保できるリュックサックなど



水 持ち運びに便利なペットボトル入りを



非常食 缶入り乾パンなど、火を通さず食べられるもの



携帯ラジオ ※予備の電池も準備 小型で軽く、FMとAMの両方を聴けるものがよい



生活用品 衣類、軍手、ナイフ、ライター、缶切り、簡易トイレ、タオル、雨具など



#### チェック! 非常備蓄品

最低でも3日間は生活できるだけの量を用意しておきましょう。

非常食 缶詰やレトルト食品など、そのまま食べられるか、簡単な調理で食べられるもの



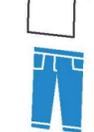
水 飲料水は1人1日3リットルが目安



工具類 スコップやロープなど



生活用品 カセットコンロとガスボンベ、毛布、衣類、トイレ用ペーパー、ドライシャンプー、ビニール袋など



#### 家族構成に合わせた準備を

非常持出品・備蓄品は、アレルギー対応の非常食やペットフードなど、家族構成に合わせて必要なものを考えてみましょう。



#### ローリングストック法

保管している非常食などを定期的に消費し、その分だけ補充していく備蓄方法です。「食べながら備蓄する」ということができます。



自ら判断し、早めに避難しましょう!

# いざというときは

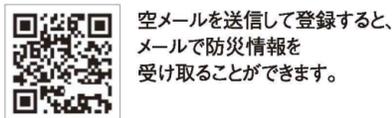


## 避難を促す情報(5段階の警戒レベル)

警戒レベル	避難情報等	状況	住民がとるべき行動
5	緊急安全確保 【市が発令】	災害発生または切迫	命の危険が迫っています。 直ちに身の安全を確保します!
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難!> ~~~~~			
4	避難指示 【市が発令】	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難します。
3	高齢者等避難 【市が発令】	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難します。 ※高齢者等以外の人も危険を感じたら 自主的に避難
2	大雨・洪水・高潮注意報 【気象庁が発表】	気象状況悪化	自らの避難行動を確認します。
1	早期注意情報 【気象庁が発表】	今後気象状況 悪化のおそれ	災害への心構えを高めましょう。

## 天草市ソーシャルメディア

### ●天草市安心・安全メールサービス



空メールを送信して登録すると、メールで防災情報を受け取ることができます。

登録用空メールアドレス  
re-ansin@amakusa-web.jp

### ●天草市公式LINE



友だち登録すると、LINEで防災情報を受け取ることができます。

検索ID  
@amakusa-city

### ●天草市防災サイト



避難情報や避難所の開設状況、道路の通行規制などを確認できます。

<https://www.city.amakusa.kumamoto.jp/bousai/>

## 災害情報伝達システム

避難情報発令時や災害発生時に情報をいち早く伝えるために戸別受信機の無料貸出しを行っており、全世帯が対象になります。設置がお済みでない世帯は、本庁防災危機管理課または牛深支所総務振興課、各支所まちづくり推進課までお問い合わせください。



## 災害用伝言サービス

### 災害用伝言ダイヤル(171)

171 にダイヤルし、ガイダンスにしたがう



### 災害用伝言板 (web171)

パソコンやスマートフォンなどから災害用伝言板(web171)にアクセスし、連絡を取りたい方の固定電話や携帯電話の番号を入力して安否情報(伝言)を登録・確認します。

### 災害用伝言板 (各携帯電話会社)

携帯電話各社でも同様のサービスを行っています。  
災害用伝言板 検索

## 避難の考え方(避難行動判定フロー)

家のある場所を天草市総合防災マップで確認しましょう。

- 想定浸水深が0.5m以上
- 土砂災害警戒区域・特別警戒区域に指定されている

いいえ

### 在宅避難

・1週間程度の食料や日用品を備えておきましょう。  
・想定外の被害が発生することもあるので、身の危険を感じた場合はその他の避難行動を取りましょう。

はい

- 想定浸水深が3m以上まで浸水のおそれがある
- 長期の浸水が想定されるとき
- 自宅が家屋倒壊等氾濫想定区域内にあるなど家にいると危険な場合

はい

### 避難場所等への「立退き避難」

・警戒レベル4までに必ず避難しましょう。  
【避難場所の例】・浸水想定区域外の「避難場所」  
・浸水想定区域外の「親戚・知人の家」



### 避難にかかる時間を考えましょう

500m歩くのに  
かかる時間(目安)  
大人:約6~8分  
高齢者:約10分



- 近隣の安全な場所への立退き避難は可能である  
・遠方で時間をかけての避難が困難なとき

可能

### 近隣の安全な場所への「立退き避難」

【安全な場所の例】・高い強固なビル ・小高い場所

不可能

- 外への避難が危険なとき  
・夜間や激しい降雨で避難経路上の危険箇所が分かりにくい  
・流れがあり、膝上まで浸水している  
・水の流れる速度が速い  
・用水路などの位置が不明で転落のおそれがある

### 家の中の安全な場所で「屋内安全確保」

【安全な場所の例】・上の階 ・崖から離れた部屋  
※あくまで逃げおくれた時の避難方法なので、極力上記いずれかの避難行動を取りましょう。

## 要配慮者を地域で守る

「要配慮者」とは、災害が起きたとき、あるいは起きそうなときに、何らかの支援がないと自らの安全を確保できない人たちのことです。地域で協力して支援していきましょう。

### ●想定される主な要配慮者

- 高齢者(一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯など)
- 障がいのある人
- 介護が必要な人
- 難病患者、傷病者
- 乳幼児・妊婦
- 外国人

### ●要配慮者の特性

- ① 災害の危険を察知することが困難である。
- ② 自分の身に危険が差し迫っていても、助けを求めることが困難である。
- ③ 危険を知らせる情報を受け取ることや正しく理解することが困難である。
- ④ 危険を知らせる情報が送られてきても、それに対応して行動することが困難である。

## 災害時に特別な配慮を要する方々への支援

高齢者や障がいをお持ちの方など、災害時において特に配慮を要する方々は、災害発生時において地域の皆さんの支援が必要となります。

### ●高齢者・病人

- ・おんぶ(または担架、リアカーなどを利用して安全な場所まで避難する。
- ・複数の介助者で対応する。



### ●目の不自由な方

- ・声をかけ、情報を伝える。
- ・誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持ってもらい、半歩手前をゆっくり歩く。



### ●車いすを利用している方

- ・階段では介助者2人以上が必要。
- ・上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。
- ・介助者が1人の場合、ひもなどを用意し、おんぶして避難する。



### ●耳の不自由な方

- ・話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにする。
- ・手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。



## 避難のポイント

### ●集団で助け合おう!

単独での行動は避け、できるだけ近所の方たちと集団で避難場所へ避難しましょう。緊急時は、家族、隣近所、地域の皆さんで助け合しましょう。



### ●自分の住所、氏名、連絡先などを記載した防災メモを持とう!

特に高齢者や子どもは、事前に防災メモを用意し、身につけて避難しましょう。



### ●外出中の家族には連絡メモを残そう!

避難前にはガスの元栓やブレーカーを切り、外出中の家族に「〇〇へ避難する」といったような連絡メモを残しておくといいでしょう。



## 避難のポイント(洪水)

### ●避難のときの靴

長靴は水が入って歩きにくく危険です。裸足やスリッパも禁物です。なるべく運動靴をはきましょう。



### ●見回りは絶対ダメ

大雨時の田んぼや河川の見回りは大変危険ですので、やめましょう。



### ●避難路に注意

橋を渡らないようにしましょう。



### ●足元に注意

足元が見えないことが多いので、よく通っている道でも、道路の真ん中を杖でつきながら慎重に歩きましょう。



### ●電線に注意

垂れ下がった電線には近づいたり、触ったりしないようにしましょう。



### ●車は冠水に弱い

水深30cmで、ほとんどの車は止まってしまいます。従って浸水や冠水の危険を感じたら、すみやかに車を高台などに移動させましょう。一般的なガソリン車が浸水・冠水した場合、道路の水が引いたからといってエンジンをむやみにかけてはいけません。エンジンの吸気系に入っていると、エンジンをかけたときにエンジン自体が壊れてしまう可能性があります。



## 避難のポイント(土砂災害)

### ●屋外に避難する場合

避難する際は、土砂災害警戒区域等(イエローゾーン・レッドゾーン)を通らないようにしましょう。ハザードマップで区域を確認してください。

### ●屋外に避難できない場合

屋外に出ることがかえって危険な場合は、2階以上の斜面から離れた部屋で安全を確認してください。



### ●雨がやんだ後も注意

これまで降った雨が土の中に残っています。雨がやんでも、土砂災害が発生するおそれがあるので注意しましょう。

## 避難のポイント(高潮)

### ●危険を感じたら早めに避難しましょう。

屋間に台風の強風域が近づいている場合や、夜間から明け方にかけて台風の強風域が最接近すると予想される場合は、市から早めの避難を呼びかけます。



### ●ひとまず丈夫な高い建物などに避難

水深が膝の高さを超えたら、大人でも歩くのが困難になります。ひとまず近くの丈夫な高い建物などに避難しましょう。



### ●海沿いへ様子を見に行くのはやめましょう。

高波にのみ込まれるおそれがあります。



# 有明地域 避難所一覧

●指定一般避難所(指定緊急避難場所) ※●はグラウンドなどの屋外施設 ◎は地域管理の避難所

避難対象地区	施設名	指定緊急避難場所			指定一般避難所	指定緊急避難場所 地震・津波・高潮
		第1次	第2次	第3次		
楠甫地区	楠甫地区コミュニティセンター	○				
	楠甫体育館		○		○	○
	蛤里地区集会所			○	○	
	蛤里高台					●
大浦地区	大浦地区コミュニティセンター	○				
	大浦体育館		○		○	○
	前島高台					●
須子地区	須子地区コミュニティセンター(大会講堂)	○				
	須子桜公園広場					●
	須子体育館		○		○	
	きのどん様高台					●
赤崎地区	赤崎地区コミュニティセンター	○				
	有明体育館		○		○	○
	赤崎体育館			○	○	
	祇園山高台					●
上津浦地区	上津浦地区コミュニティセンター	○				
	リップランド芝生広場					●
	下津江センター			○	○	
	浦和体育館		○		○	○
下津浦地区	下津浦地区コミュニティセンター	○				
	下津浦平団地広場					●
	下津浦体育館		○		○	
	権六山高台					●
島子地区	小島子上地区集会所			○	○	
	功德寺高台					●
	島子地区コミュニティセンター	○				
	島子体育館		○		○	
	島子八幡宮広場					●
	沖ノ田高台					●

### ●指定福祉避難所(要配慮者避難所)

有明町民センター

要配慮者利用施設は、天草市防災サイトで随時更新しています!



※指定緊急避難場所 ..... 災害が発生し、または発生のおそれがある場合に、その危険から逃れるための避難場所。※災害の状況や避難者数の状況に応じ、第1次から第3次の順に開設します。  
 ※指定一般避難所 ..... 災害の危険性があり、避難した方や災害により家に戻れなくなった方に必要な期間、滞在していただく臨時の施設。感染症などの拡大を防ぐため市が指定した避難所以外でも各自災害に応じた安全な場所を避難先として確保することも大切です。  
 ※指定福祉避難所(要配慮者避難所) ..... 要配慮者のために特別な配慮がなされた避難所。

## 避難所生活の心得

避難所の生活では、ほかの人の居住スペースに立ち入ったり、のぞいたり、大声を上げたり、決められた場所以外で喫煙するのはマナー違反です。ルールを守り、避難者もできる範囲で役割分担をして助け合いながら生活しましょう。また、避難所では、要配慮者への心配りも必要です。

### ①連絡先などの申告



避難所に到着したら、住所・氏名・連絡先を申告し、できるだけ隣近所の人や町内会ごとにまとめて過ごすようにします。帰宅困難者はその旨を申告します。

### ②役割分担



受付や炊き出しなど、割り当てられた係の仕事はしっかり行いましょう。お互いに協力し合って避難所を運営しなければならぬことも多くあります。

### ③体調管理・衛生管理



急激な環境変化で体調を崩さないように心掛けましょう。トイレの清掃やゴミ捨て当番などを決めて衛生管理をしましょう。

# 洪水

情報の  
入手先

- 気象庁 気象警報・注意報 <https://www.jma.go.jp/bosai/map.html>
- 気象庁 雨雲の動き(高解像度降水ナウキャスト) <https://www.jma.go.jp/bosai/nowc>
- 気象庁 キキクル(危険度分布) <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/>
- 熊本県 統合型防災情報システム <http://www.bousai.pref.kumamoto.jp/>

## 氾濫の種類

### 外水氾濫



大雨によって河川の水位が高くなると、堤防を越えて水があふれたり、堤防が壊れたり(決壊、破堤)することがあります。このようなことが原因で生じる氾濫のことを「外水氾濫」といいます。

### 内水氾濫



平地に降った雨は、水路などを通じて河川に放出されます。しかし、ゲリラ豪雨のような雨が降ると、水路の排水能力が追いつかなかったり、河川の水位が上昇して排出できなくなったりすることがあります。このように、地域に降った雨が河川にたどり着く前にあふれる状態のことを「内水氾濫」といいます。

## 雨の降り方と強さ

1時間雨量	10~20mm	20~30mm	30~50mm	50~80mm	80mm以上	110mm
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨	<b>記録的短時間大雨情報</b>
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る	息苦しくなるような圧迫感がある降り方	数年に一度程度しか発生しないような短時間大雨(気象台が発表)
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる		傘は全く役に立たなくなる		特に、土砂災害警戒区域や浸水想定区域にお住まいの方は、避難情報を確認し、早めに避難行動をとってください。
屋内(木造住宅を想定)の様子	雨の音で話し声が良く聞かれない		寝ている人の半数くらいが雨に気がつく			
屋外の様子	地面一面に水たまりができる		道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる		

※今いる場所で雨が降ってなくても、周辺や山間部で大雨が降っていたり、雷鳴が聞こえたりした場合は、急な河川の増水や局地的な大雨が降るおそれがあるため、気象情報をよく確認してください。

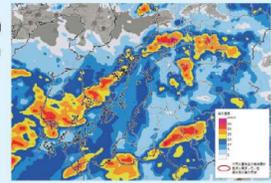
## 突然の大雨に注意

局地的大雨は、発達した積乱雲に伴って発生します。短時間のうちに雲がもくもくと大きくなって周囲が薄暗くなるようなときには、災害が発生する可能性が高まっていることを意識してください。次のような現象を確認して危険を感じたら、すぐに身の安全を確保しましょう。

- 真っ黒い雲が近づき、あたりが急に暗くなる。
- 雷鳴が聞こえたり、雷の光が見えたりする。
- 急に冷たい風が吹く。●大粒の雨やひょうが降り出す。



雨雲の動き(高解像度降水ナウキャスト) 5分ごとに1時間先までの雨の動きを確認できます。



# 土砂災害

情報の  
入手先

- 気象庁 気象警報・注意報 <https://www.jma.go.jp/bosai/map.html>
- 気象庁 キキクル(危険度分布) <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/>
- 熊本県 土砂災害情報マップ <http://sabo.kiken.pref.kumamoto.jp/>

## 土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

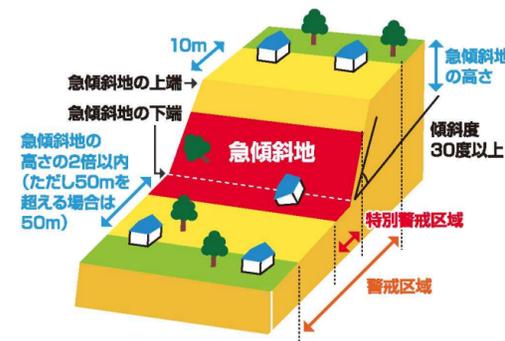
がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

## 土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

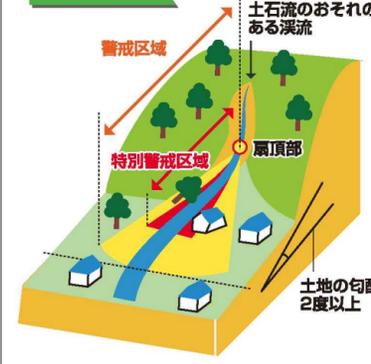
がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、特定の開発行為の制限、建築物の構造規制等が行われます。

土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、大雨のときには警戒避難が必要となる可能性がありますので、避難情報などの情報にも注意してください。

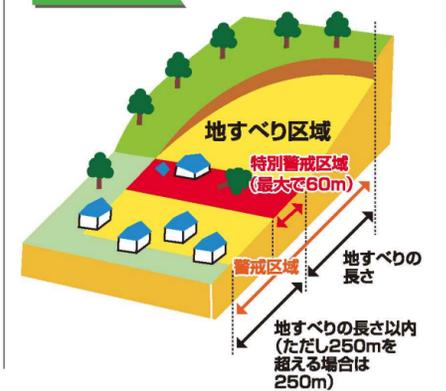
## 急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)



## 土石流

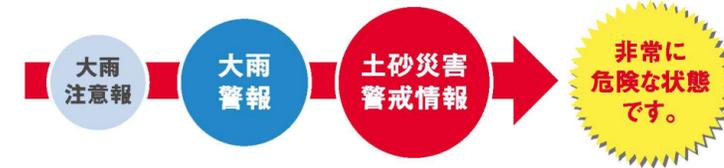


## 地すべり



## 土砂災害警戒情報

大雨により土砂災害の発生の危険性が高まった場合、熊本県と熊本地方気象台が共同で発表します。土砂災害警戒情報が発表されたときは「いつ土砂災害が起きてもおかしくない」という非常に危険な状態です。また、土砂災害警戒情報が発表されていなくても、その他の防災情報や土砂災害の前兆現象などにも十分注意しながら、適切な避難活動を取ってください。



土砂災害警戒情報は、「天草市東部」、「天草市西部」で発表されます

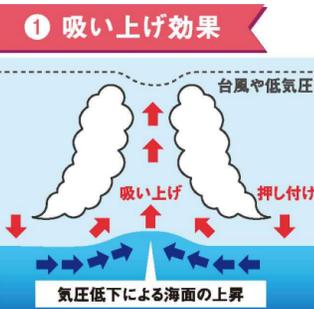
- 天草市東部** → 本渡地域、有明町、御所浦町、倉岳町、栖本町、新和町、五和町
- 天草市西部** → 牛深地域、天草町、河浦町

# 高潮

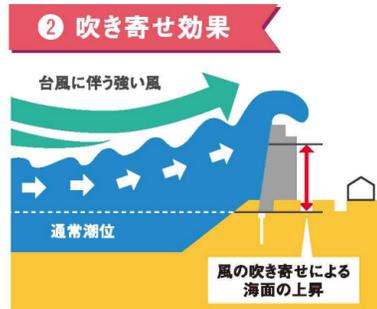
情報の  
入手先

- 気象庁 気象警報・注意報 <https://www.jma.go.jp/bosai/map.html>
- 気象庁 潮位観測情報 <https://www.data.jma.go.jp/gmd/kaiyou/db/tide/suisan/index.php>

## 高潮の起こる仕組み



台風や発達した低気圧の中心が接近すると、中心付近の気圧が低下し、海面が吸い上げられて上昇します。



台風による強い風が沖から海岸に向かって長時間吹き続けると、海水が海岸に吹き寄せられ、海岸付近の海面が異常に上昇します。

## 高潮の被害を受けやすい場所

- 河口のまわり: 高潮の被害と河川の氾濫などの、危険が重なる。
- ゼロメートル地帯: 平均海面より低い土地は浸水の危険性が高い。
- 湾の奥のほう: 押し寄せた海水がたまり、湾内の水位が上がる。
- 急に深くなる海底地形: 押し寄せた波が海岸の近くで一気に高くなる。

## 台風

台風の大きさは、強風域(風速15m/s以上の強い風が吹いているか、地形の影響などが無い場合に吹く可能性のある範囲)の半径で表し、台風の強さは、最大風速で区分しています。台風に関する情報の中では、台風の大きさ強さを組み合わせて、「大型で非常に強い台風」のように呼びます。

台風が発生しやすい時期は、台風予測を事前に確認して、適切な行動をとりましょう。

### ●大きさの階級分け

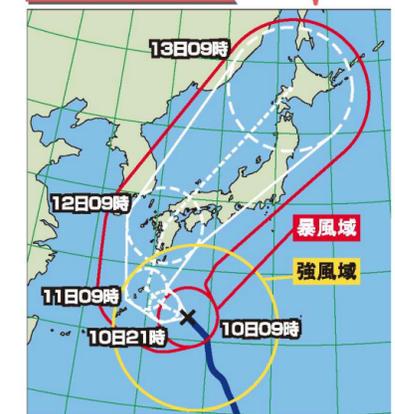
階級	風速15m/s以上の半径
大型(大きい)	500km以上800km未満
超大型(非常に大きい)	800km以上

### ●強さの階級分け

階級	最大風速
強い	33m/s以上44m/s未満
非常に強い	44m/s以上54m/s未満
猛烈な	54m/s以上



## 台風情報の例



# 地震

情報の  
入手先

- 気象庁 気象警報・注意報
- 気象庁 地震情報

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html>  
<https://www.data.jma.go.jp/multi/quake/index.html?lang=jp>

## 地震発生時のタイムライン

### 地震発生

#### まずは自分の身を守る

- 机の下に入る。
- クッションや雑誌などで頭を保護する。
- 家具やガラス面から離れる。

#### 緊急地震速報

地震発生後、大きな揺れが来る数秒～数十秒前にテレビ・ラジオ・携帯電話などから警報を発表するシステムです。震源に近い地域は、緊急地震速報が強い揺れに間に合わない場合があります。



#### こんなときは

##### 人が大勢いる施設では

むやみに移動すると混乱をまねくおそれがあるため、係員の指示に従い、落ち着いて行動。

##### 山やがけ付近では

落石やがけ崩れに注意。

##### 路上にいた!

窓ガラスや瓦などの落下物からカバンなどで頭を保護し、空き地や公園などに避難する。

**注意** ブロック塀、自動販売機には近づかない。倒れそうな電柱、垂れ下がった電線に注意する。

##### 車を運転していた!

徐々にスピードを落とし、左側に止め、エンジンを切る。揺れがおさまるまで冷静に待つ。

**注意** 避難するときはキーは付けたまま、ドアロックもしない。貴重品を持ち出し、徒歩で避難する。

##### エレベーターの中にいた!

すべての階のボタンを押して、停止した階で降りる。

**注意** 閉じ込められても無理に脱出しようとせず、非常ボタンで外部と連絡をとり救出を待つ。

#### 発生から1~2分

##### ●揺れがおさまったらまず火の始末

- 脱出口を確保する。
- 火元を確認する。
- 家族の安全を確保する。
- 靴をはく。

#### 発生から3分

##### ●隣近所の安全確認・火災の発生を防ぐ

- 隣近所に声をかける。
- 余震に注意。
- 非常持出品を用意する。
- 近所に火が出ていたら初期消火。

#### 発生から5分

##### ●ラジオなどで正しい情報入手

- 正しい情報をつかむ。
- 電話は緊急連絡を優先。
- 家屋倒壊などの危険があれば避難。

#### 発生から10分~

##### ●協力して消火・救出・救護活動

- 助け合いの心が大切。
- 壊れた建物には入らない。
- 災害情報・被害情報の収集を行い、デマ情報にまどわされない。

# 津波

情報の  
入手先

- 気象庁 気象警報・注意報 <https://www.jma.go.jp/bosai/map.html>
- 気象庁 大津波警報・津波警報・津波注意報 <https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tsunami>

## 津波の特徴

#### ●ジェット機並みの速さ



津波の速さは海が深いほど速く、津波が見えてからでは逃げ切れません。

#### ●想像以上の高さ



津波の高さは海岸の地形等で変わります。東日本大震災では、想像以上の津波が発生しました。

#### ●予兆もなく襲ってくる



必ずしも、津波の前に引き潮(予兆)があるとは限りません。

#### ●津波は繰り返す

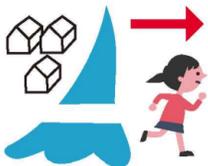


津波は繰り返しくるので、警報や注意報が解除されるまで沿岸部に近づかないでください。

## 避難のポイント(津波)

#### ●海岸や川には近づかない!

海岸はもちろん、津波は市街地よりも川を早くさかのぼりますので、できるだけ川に近づかず避難しましょう。



#### ●高い場所へ避難する

海岸から「より遠くへ」ではなく、「より高い」場所へ避難しましょう。



海拔表示板を目安により高いところを目指してください。



## 地震ハザードマップ(揺れやすさマップ)

どこでも発生する可能性のあるM6.9の直下型地震が発生した場合に、市内で想定される最大の揺れをマップに表示しています。

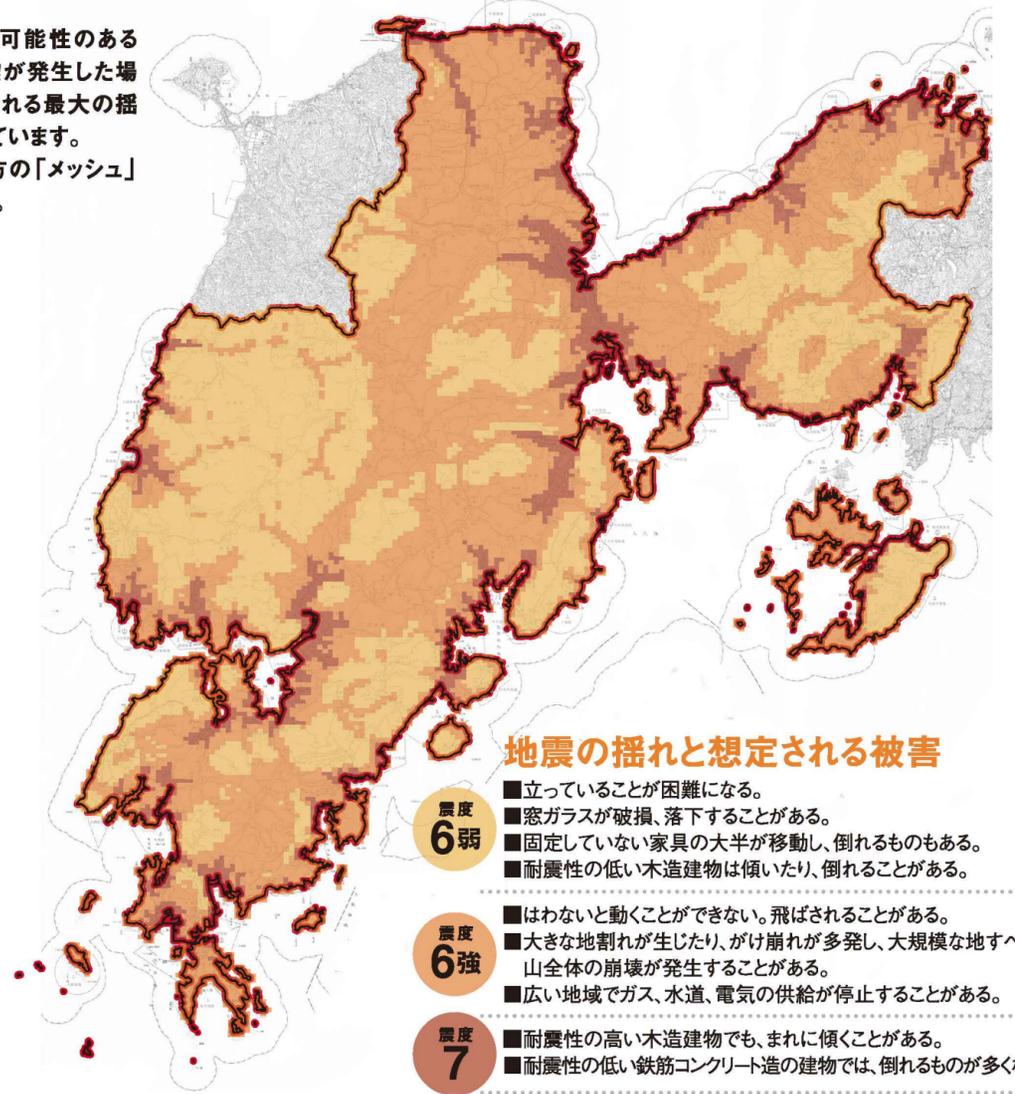
計算は、約50m四方の「メッシュ」単位で行っています。

(平成30年 天草市作成)

#### 危険度

- 震度6弱
- 震度6強
- 震度7

2000 0 2000 4000 6000m



### 地震の揺れと想定される被害

- 震度6弱**
  - 立っていることが困難になる。
  - 窓ガラスが破損、落下することがある。
  - 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。
  - 耐震性の低い木造建物は傾いたり、倒れることがある。
- 震度6強**
  - はわないと動くことができない。飛ばされることがある。
  - 大きな地割れが生じたり、がけ崩れが多発し、大規模な地すべりや山全体の崩壊が発生することがある。
  - 広い地域でガス、水道、電気の供給が停止することがある。
- 震度7**
  - 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
  - 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。

※出典:「震度と揺れ等の状況(概要)(平成21年3月)」気象庁

## 津波に関する警報・注意報

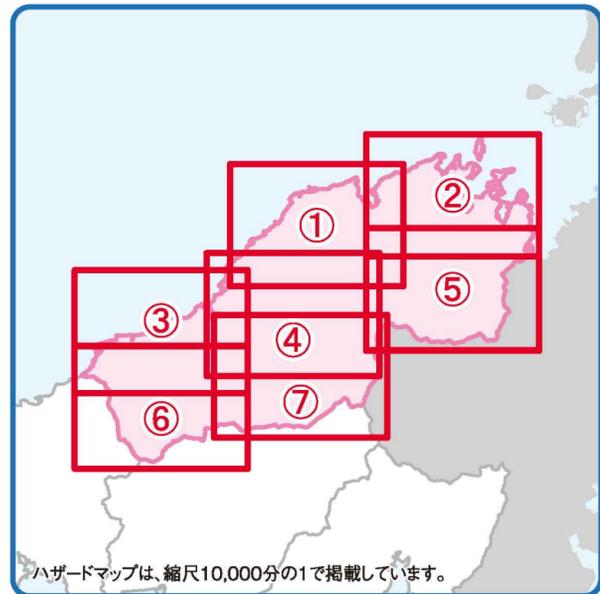
津波による災害の発生が予想される場合には、地震発生後約3分で大津波警報、津波警報または津波注意報が気象庁から発表され、その後の予想される津波の高さや津波の到着予想時刻などが発表されます。

種類	発表される津波の高さ		想定される被害	とるべき行動
	数値での発表(発表基準)	巨大地震の場合の発表		
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
	10m (5m<高さ≤10m)			
	5m (3m<高さ≤5m)			
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難してください。
津波注意報	1m (0.2m≤高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。	海の中にいる人は、ただちに海から上がり、海岸から避難してください。

# ハザードマップの見方

このハザードマップに示した危険区域以外にも、災害が発生する可能性がありますのでご注意ください。

## ■ 洪水・土砂災害ハザードマップ



対象河川	前提となる降雨 (想定最大規模)	指定年月日
下津浦川水系下津浦川	流域全体に 6時間の総雨量644mm	R3.10.15
下津浦川水系萩の平川	流域全体に 6時間の総雨量644mm	R3.10.15
上津浦川水系上津浦川	流域全体に 6時間の総雨量644mm	R4.3.29
上津浦川水系江河内川	流域全体に 6時間の総雨量644mm	R3.10.15
上津浦川水系稗田川	流域全体に 6時間の総雨量644mm	R3.10.15
楠浦川水系楠浦川	流域全体に 6時間の総雨量639mm	R3.10.15

水位周知河川以外

### ● 洪水浸水想定区域について

想定最大規模の大雨に伴う洪水によって天草市有明地域に係る河川が氾濫した場合の「浸水する範囲(浸水域)」と「浸水する深さ(浸水深)」を地図上に示しています。

### ● 土砂災害警戒区域・特別警戒区域について

熊本県が告示した、「急傾斜地の崩壊」、「土石流」、「地すべり」の土砂災害警戒区域・特別警戒区域を示しています。(令和5年度末時点)

### ● 家屋倒壊等氾濫想定区域(早期の立退き避難が必要な区域)

家屋の倒壊・流出等の危険がある区域の目安として、家屋倒壊等氾濫想定区域を示しています。

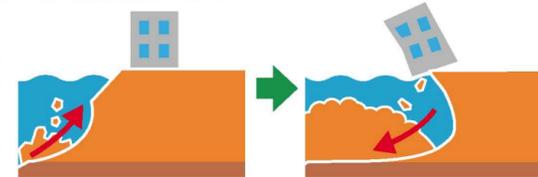
#### ■ 氾濫流による家屋倒壊等

堤防決壊などによる氾濫流によって木造家屋が流出・倒壊するおそれがある区域



#### ■ 河岸侵食による家屋倒壊等

洪水時の河岸侵食によって、木造・非木造の家屋が流出・倒壊するおそれがある区域



### ● 想定浸水深の目安

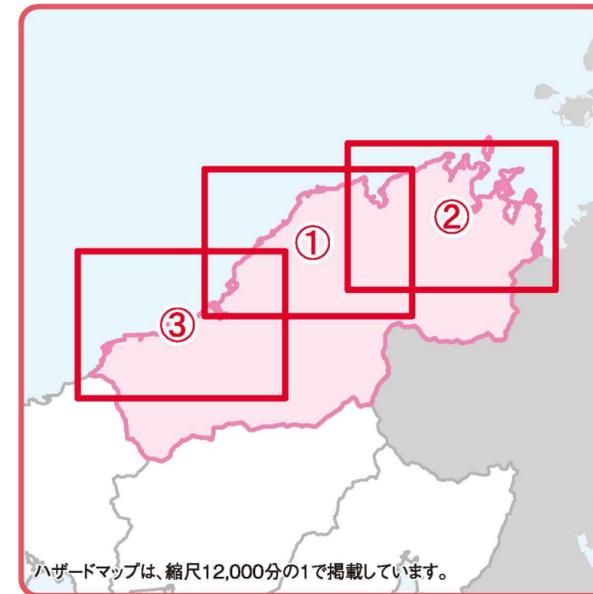


家屋が床上浸水します。また、自動車の走行が不可能となるばかりか歩くことも困難になり、生活に重大な影響がでます。



家屋の1階がすべて水につかってしまい、家財道具などに重大な被害がでます。また、3m以上の浸水になると2階以上も水につかります。

## ■ 高潮ハザードマップ



### ● 高潮浸水想定区域について

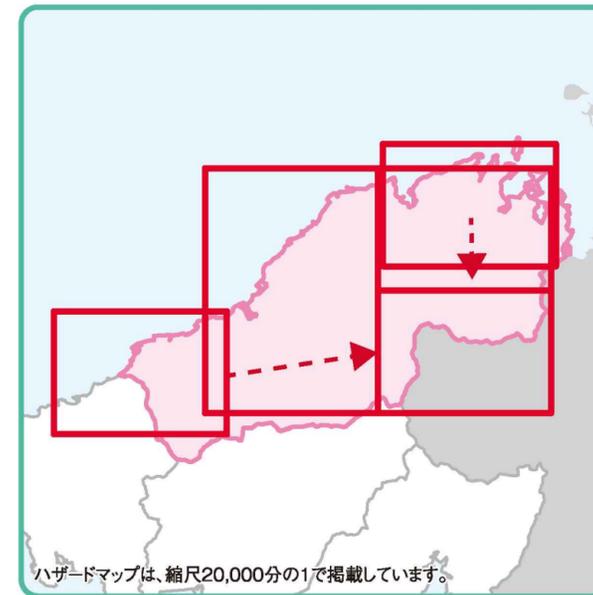
熊本県が令和3年11月に作成した、最大クラスの台風に伴う高潮が発生したときの高潮浸水想定区域を地図上に示しています。

高潮浸水想定区域の作成にあたっては、最悪の事態を想定し、台風の強さと経路を複数設定してシミュレーションを行い、各地点で一番浸水の深いものを地図上に示しています。

- 中心気圧:室戸台風(1934年)を基本(900hPa)
- 台風の半径:75km(伊勢湾台風(1959年)を参考)を採用
- 台風の移動速度:73km/h(同上)を採用  
(天草沿岸の一部で、波高が最大となる50km/hを採用)
- 潮位:各海域の朔望平均満潮位に、異常潮位0.128mを考慮
- 構造物:護岸、堤防等は全て決壊

※朔望(さくぼう) 平均満潮位:新月(朔)および満月(望)の日から5日以内に現れる各月の最高満潮面について、1年以上にわたって平均した値。

## ■ ため池ハザードマップ



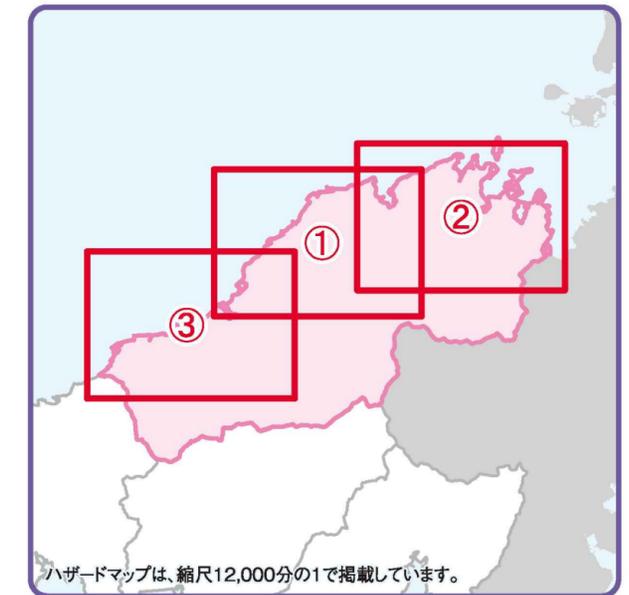
### ● ため池浸水想定区域について

このハザードマップは、堤体が豪雨や地震により破堤した場合を想定し、浸水被害が想定される範囲を示したものです。満水状態のため池が、大地震など何らかの原因で瞬時に決壊し、堰を切ったように全ての水が流れ出したものとしています。対象ため池以外のため池による決壊、周辺地域の河川や水路の氾濫、土砂災害などは考慮していないため、実際には違う浸水域となる場合もあります。各ため池の詳細な情報については、天草市HPよりご確認ください。

天草市 ため池ハザードマップ



## ■ 津波ハザードマップ



### ● 津波浸水想定区域について

熊本県内の沿岸部を対象に、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される「浸水する範囲(浸水域)」と「浸水する深さ(浸水深)」を示しています(平成25年3月 熊本県作成)。

津波の想定には3つの断層モデル「雲仙断層群」、「布田川・日奈久断層帯」、「南海トラフの巨大地震」を対象に6つのケースの津波を想定し、各計算結果の最大値を示しています。

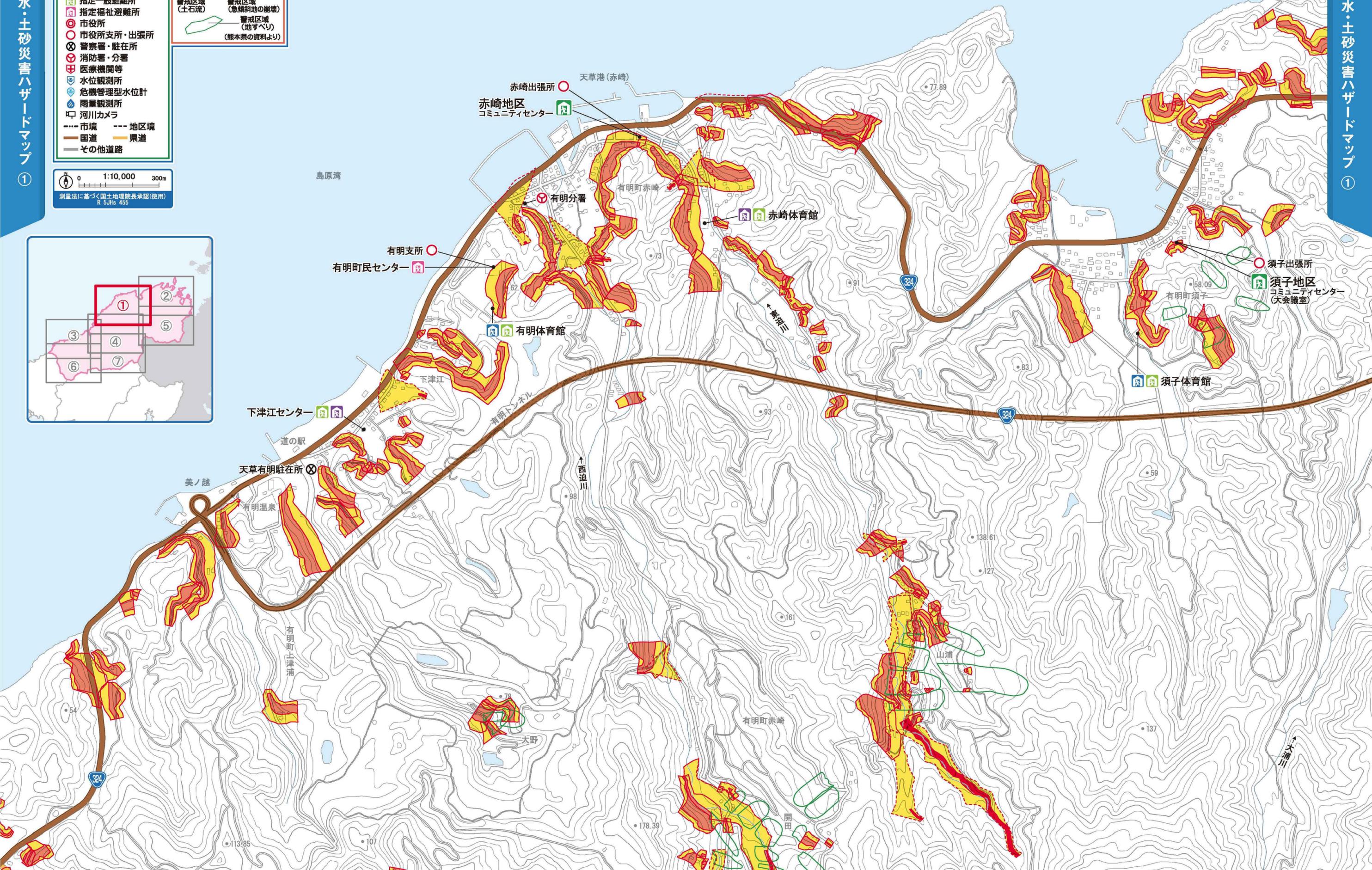
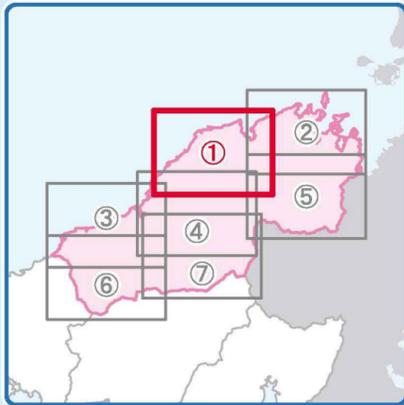
- 潮位:各海域の朔望平均満潮位
- 構造物:護岸、堤防等は全て決壊

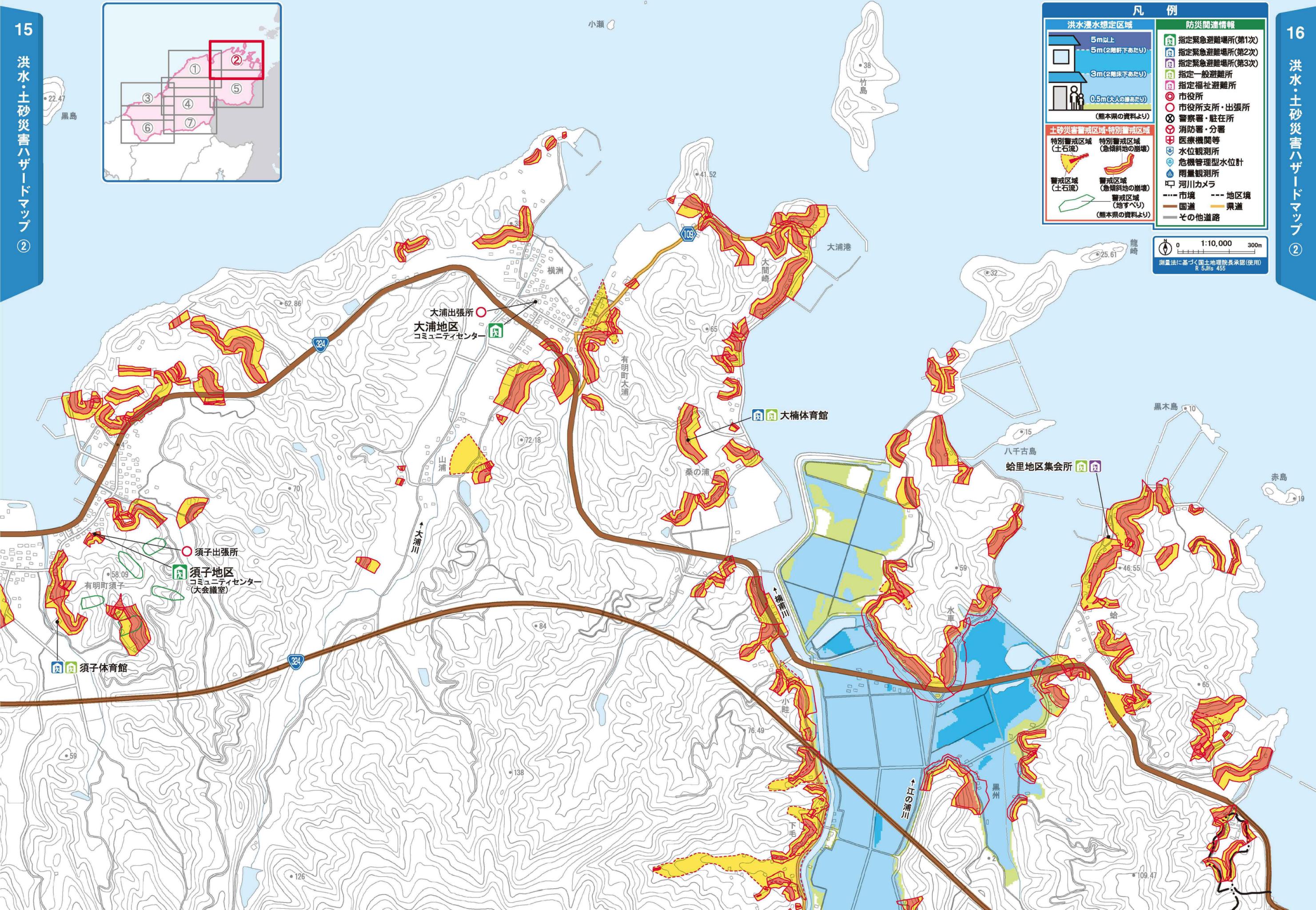
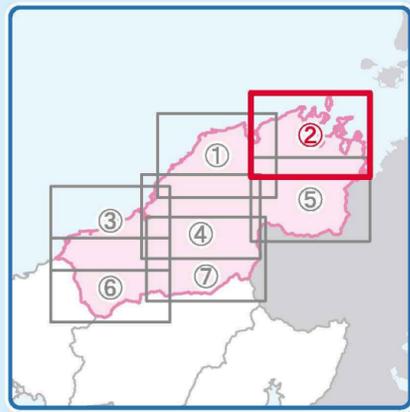
※朔望(さくぼう) 平均満潮位:新月(朔)および満月(望)の日から5日以内に現れる各月の最高満潮面について、1年以上にわたって平均した値。

凡例

防災関連情報		土砂災害警戒区域・特別警戒区域	
	指定緊急避難場所(第1次)		特別警戒区域(土石流)
	指定緊急避難場所(第2次)		特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)
	指定緊急避難場所(第3次)		警戒区域(土石流)
	指定一般避難所		警戒区域(急傾斜地の崩壊)
	指定福祉避難所		警戒区域(地すべり)
	市役所		(熊本県の資料より)
	市役所支所・出張所		
	警察署・駐在所		
	消防署・分署		
	医療機関等		
	水位観測所		
	危機管理型水位計		
	雨量観測所		
	河川カメラ		
	市境		地区境
	国道		県道
	その他道路		

0 1:10,000 300m  
測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R.5.11.15 455





凡例	
<b>洪水浸水想定区域</b>	
5m以上	指定緊急避難場所(第1次)
5m(2階軒下あたり)	指定緊急避難場所(第2次)
3m(2階床下あたり)	指定緊急避難場所(第3次)
0.5m(大人の膝あたり)	指定一般避難所
(熊本県の資料より)	
<b>土砂災害警戒区域・特別警戒区域</b>	
特別警戒区域(土石流)	指定福祉避難所
特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)	市役所
警戒区域(土石流)	市役所支所・出張所
警戒区域(急傾斜地の崩壊)	警察署・駐在所
警戒区域(地すべり)	消防署・分署
(熊本県の資料より)	
医療機関等	水位観測所
危機管理型水位計	雨量観測所
河川カメラ	
市境	地区境
国道	県道
その他道路	

0 1:10,000 300m  
測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 5Jhs 465

### 凡例

**洪水浸水想定区域**

- 5m以上 (2階軒下あたり)
- 3m (2階床下あたり)
- 0.5m (大人の膝あたり)

(熊本県の資料より)

**土砂災害警戒区域・特別警戒区域**

- 特別警戒区域 (土石流)
- 特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
- 警戒区域 (土石流)
- 警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
- 警戒区域 (地すべり)

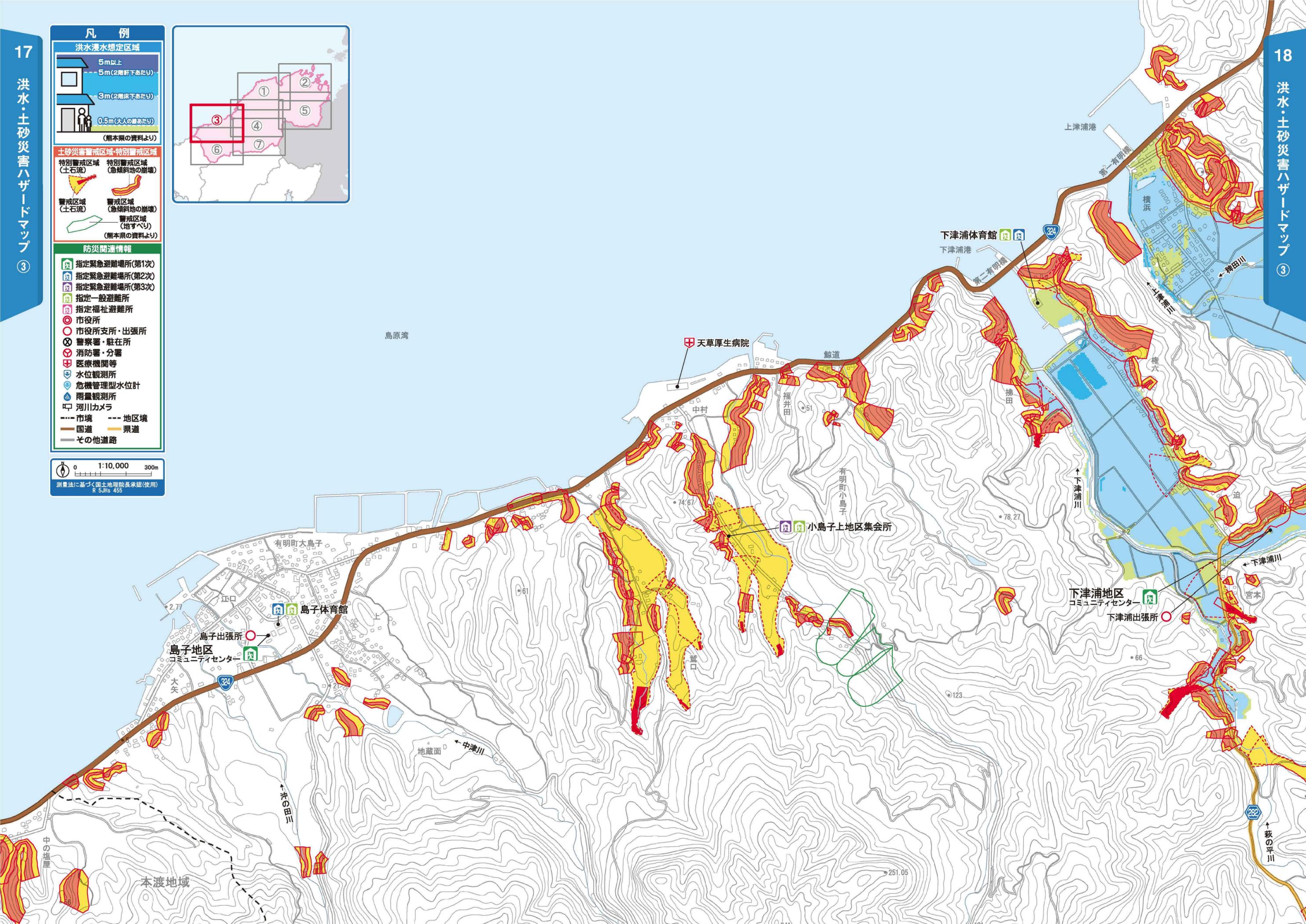
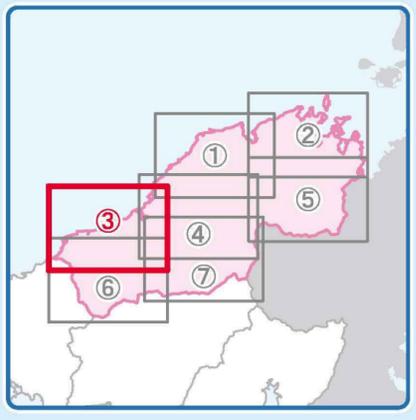
(熊本県の資料より)

**防災関連情報**

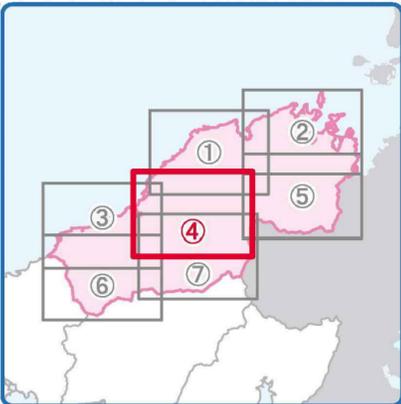
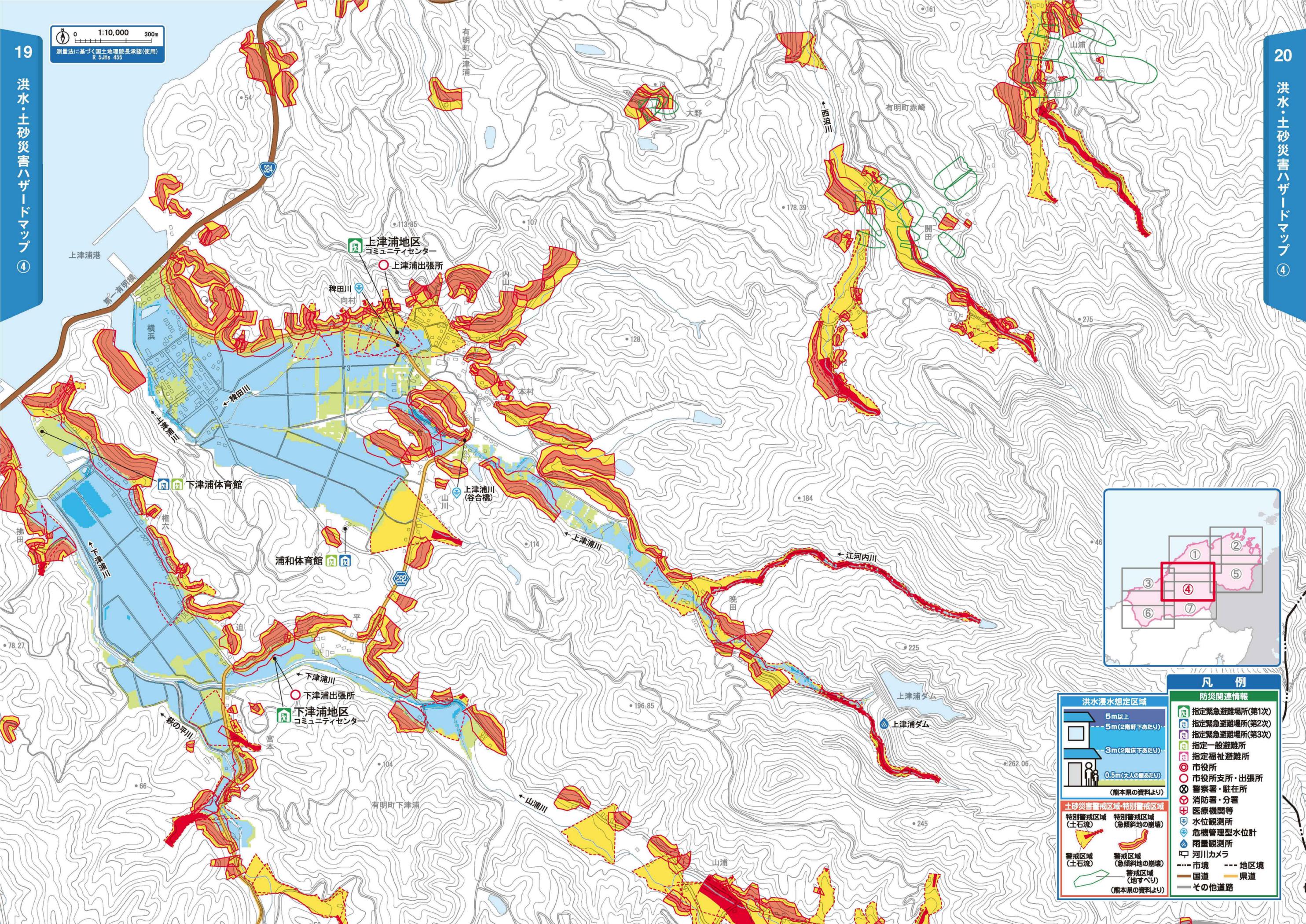
- 指定緊急避難場所(第1次)
- 指定緊急避難場所(第2次)
- 指定緊急避難場所(第3次)
- 指定一般避難所
- 指定福祉避難所
- 市役所
- 市役所支所・出張所
- 警察署・駐在所
- 消防署・分署
- 医療機関等
- 水位観測所
- 危機管理型水位計
- 雨量観測所
- 河川カメラ

--- 市境 --- 地区境  
 国道 県道  
 其他道路

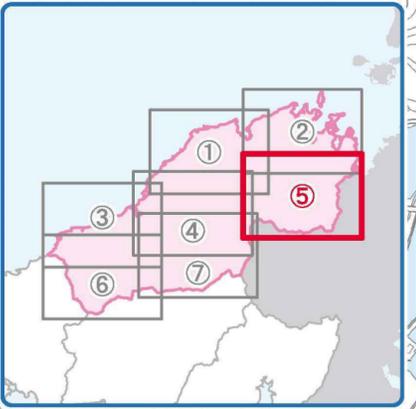
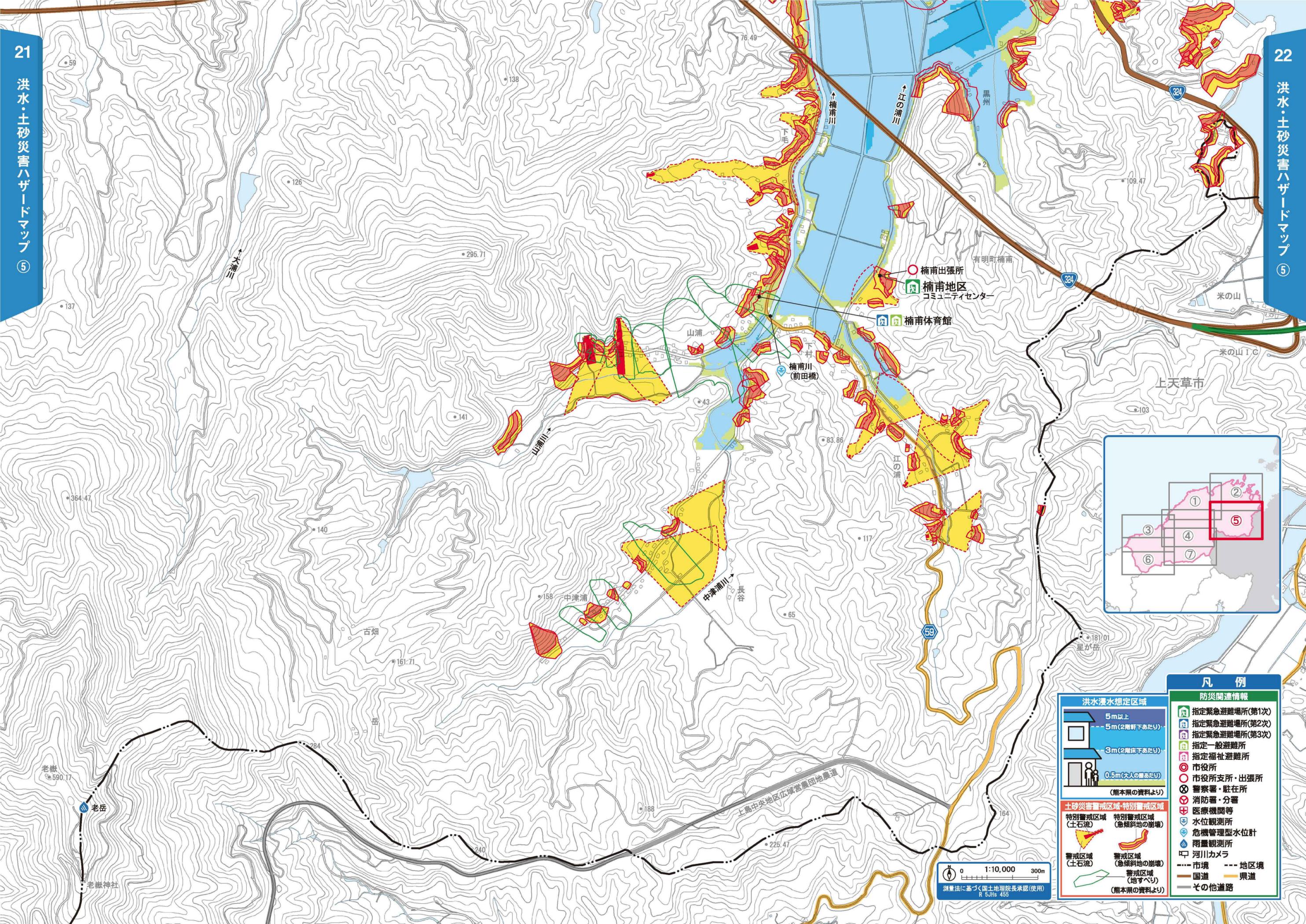
0 1:10,000 300m  
 測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 5/15 455



0 1:10,000 300m  
 測量法に基づく国土院院長承認(使用)  
 R 5/15s 455



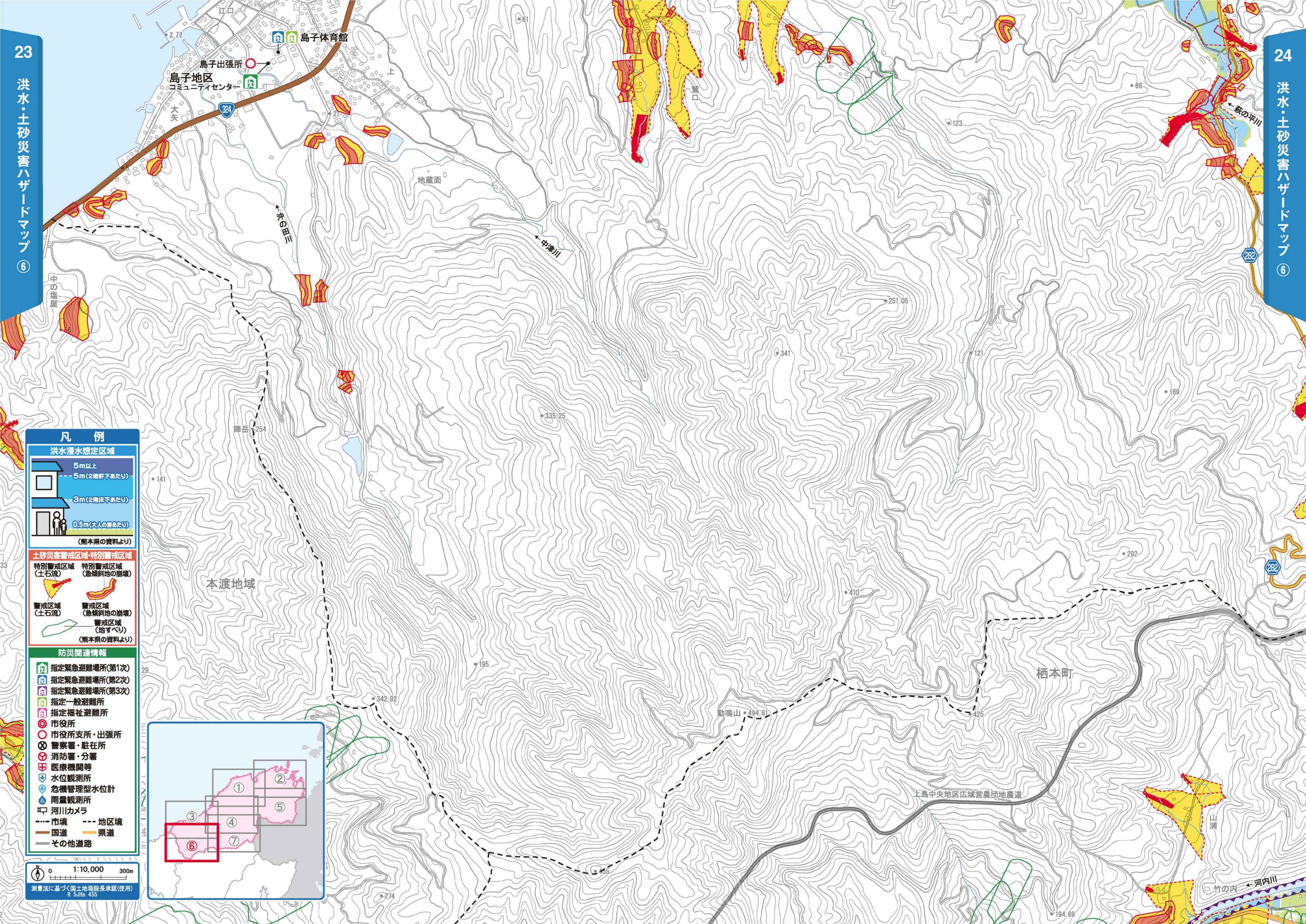
凡例	
<b>洪水浸水想定区域</b>	
	5m以上
	5m(2階軒下あたり)
	3m(2階床下あたり)
	0.5m(大人の膝あたり)
(熊本県の資料より)	
<b>土砂災害警戒区域・特別警戒区域</b>	
	特別警戒区域(土石流)
	特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)
	警戒区域(土石流)
	警戒区域(急傾斜地の崩壊)
	警戒区域(土石流)
	警戒区域(急傾斜地の崩壊)
(熊本県の資料より)	
<b>防災関連情報</b>	
	指定緊急避難場所(第1次)
	指定緊急避難場所(第2次)
	指定緊急避難場所(第3次)
	指定一般避難所
	指定福祉避難所
	市役所
	市役所支所・出張所
	警察署・駐在所
	消防署・分署
	医療機関等
	水位観測所
	危機管理型水位計
	雨量観測所
	河川カメラ
	市境
	地区境
	国道
	県道
	その他道路



凡例	
防災関連情報	
	指定緊急避難場所(第1次)
	指定緊急避難場所(第2次)
	指定緊急避難場所(第3次)
	指定一般避難所
	指定福祉避難所
	市役所
	市役所支所・出張所
	警察署・駐在所
	消防署・分署
	医療機関等
	水位観測所
	危機管理型水位計
	雨量観測所
	河川カメラ
	市境
	地区境
	国道
	県道
	その他道路



洪水浸水想定区域	
	5m以上
	5m(2階軒下あたり)
	3m(2階床下あたり)
	0.5m(大人の膝あたり)
(熊本県の資料より)	
土砂災害警戒区域・特別警戒区域	
	特別警戒区域(土石流)
	特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)
	警戒区域(土石流)
	警戒区域(急傾斜地の崩壊)
	警戒区域(地すべり)
(熊本県の資料より)	



**凡例**

**洪水浸水想定区域**

- 5m以上
- 5m(2階軒下あたり)
- 3m(2階床下あたり)
- 0.5m(大人の膝あたり)

(熊本県の資料より)

**土砂災害警戒区域・特別警戒区域**

- 特別警戒区域(土石流)
- 特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 警戒区域(土石流)
- 警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 警戒区域(地すべり)

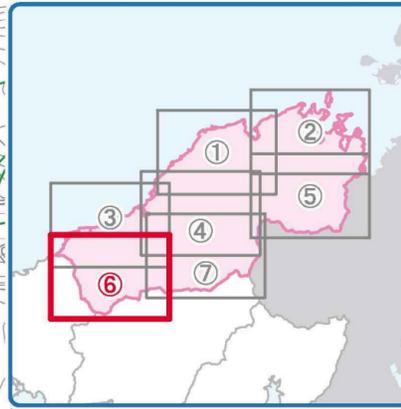
(熊本県の資料より)

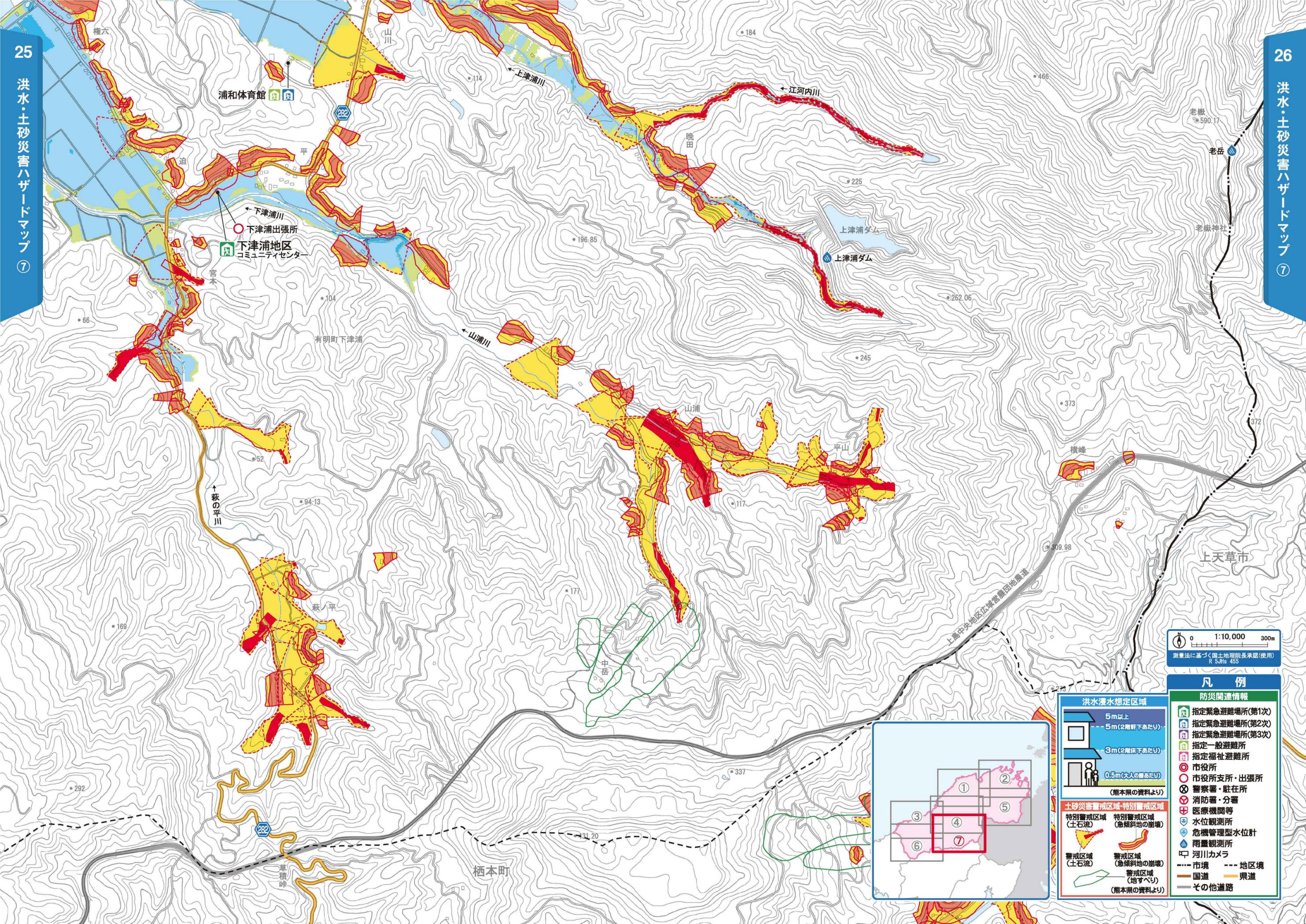
**防災関連情報**

- 指定緊急避難場所(第1次)
- 指定緊急避難場所(第2次)
- 指定緊急避難場所(第3次)
- 指定一般避難所
- 指定福祉避難所
- 市役所
- 市役所支所・出張所
- 警察署・駐在所
- 消防署・分署
- 医療機関等
- 水位観測所
- 危機管理型水位計
- 雨量観測所
- 河川カメラ

--- 市境    --- 地区境  
 〓 国道    〓 県道  
 --- その他道路

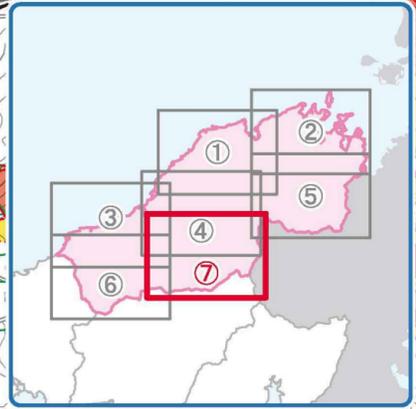
0 1:10,000 300m  
 測量法に基づく国土地理院長承認(使用)  
 R.5.JiHe 455



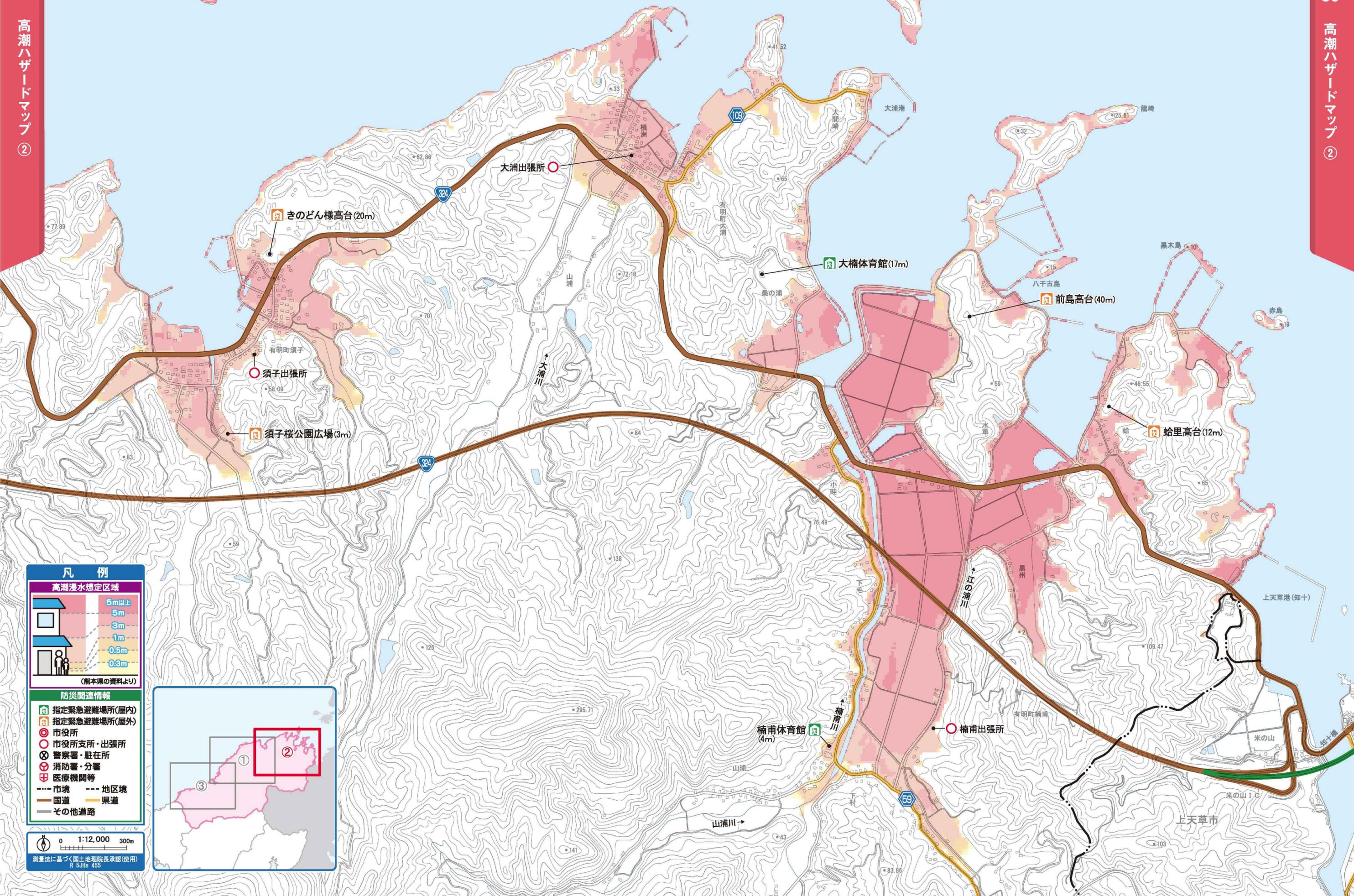


凡例	
防災関連情報	
	指定緊急避難場所(第1次)
	指定緊急避難場所(第2次)
	指定緊急避難場所(第3次)
	指定一般避難所
	指定福祉避難所
	市役所
	市役所支所・出張所
	警察署・駐在所
	消防署・分署
	医療機関等
	水位観測所
	危機管理型水位計
	雨量観測所
	河川カメラ
	市境
	地区境
	国道
	県道
	その他道路

洪水浸水想定区域	
	5m以上
	5m(2階軒下あたり)
	3m(2階床下あたり)
	0.5m(大人の膝あたり)
(熊本県の資料より)	
土砂災害警戒区域・特別警戒区域	
	特別警戒区域(土石流)
	特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)
	警戒区域(土石流)
	警戒区域(急傾斜地の崩壊)
	警戒区域(地すべり)
(熊本県の資料より)	







きのどん様高台(20m)

大浦出張所

大楠体育館(17m)

前島高台(40m)

須子出張所

須子桜公園広場(3m)

蛤 蛤里高台(12m)

楠浦体育館(4m)

楠浦出張所

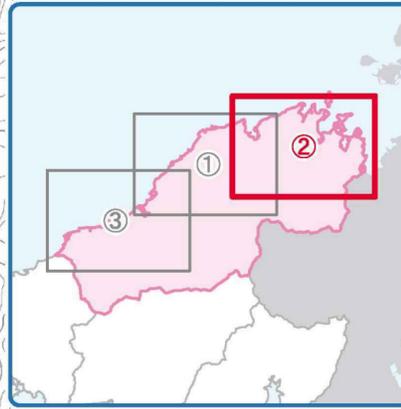
**凡例**

高潮浸水想定区域

	5m以上
	5m
	3m
	1m
	0.5m
	0.3m

(熊本県の資料より)

- 防災関連情報
- 指定緊急避難場所(屋内)
  - 指定緊急避難場所(屋外)
  - 市役所
  - 市役所支所・出張所
  - 警察署・駐在所
  - 消防署・分署
  - 医療機関等
  - 市境
  - 地区境
  - 国道
  - 県道
  - その他道路



**凡例**

高潮浸水想定区域

5m以上
5m
3m
1m
0.5m
0.3m

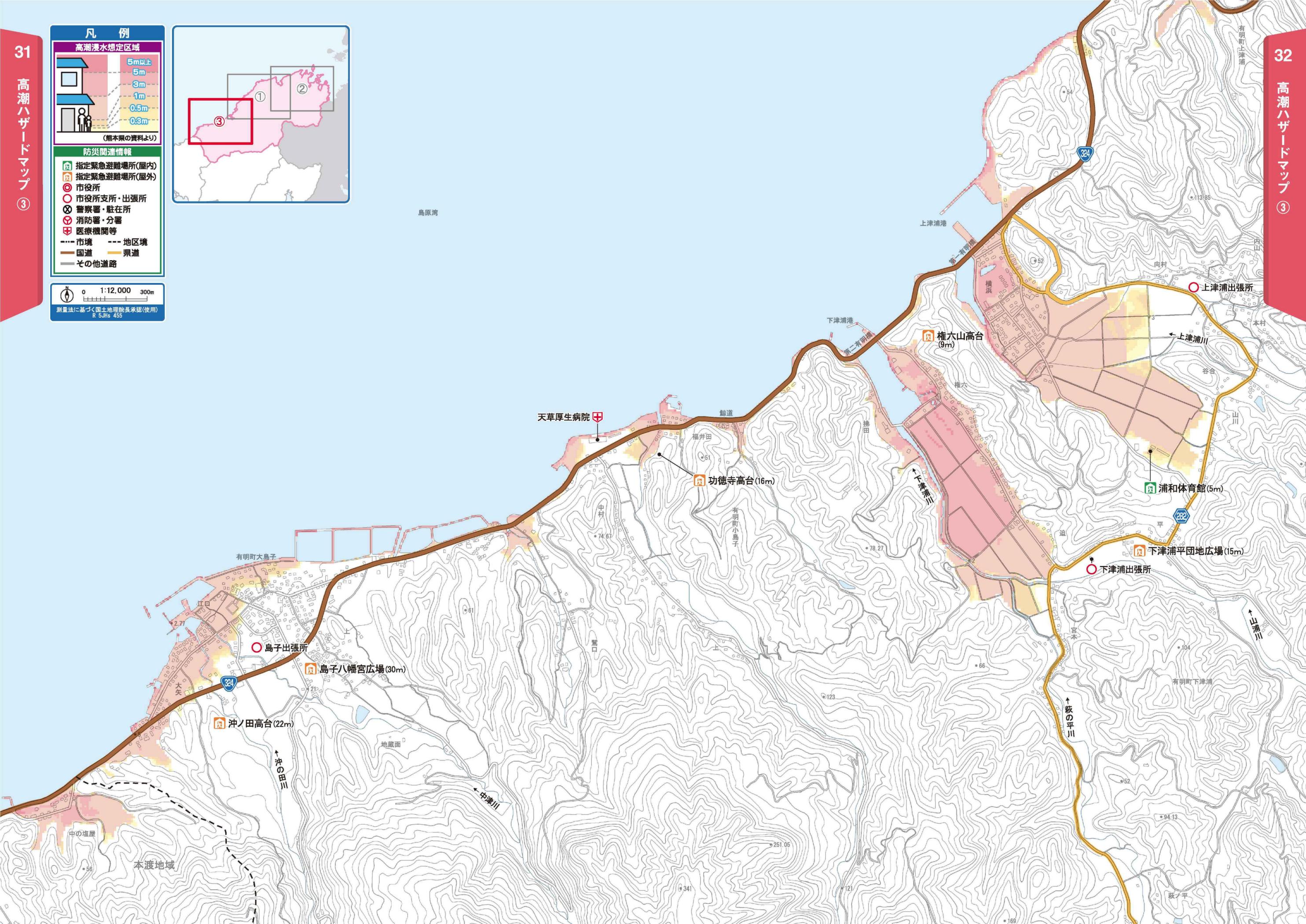
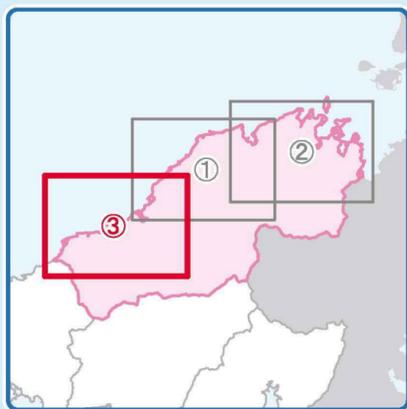
(熊本県の資料より)

**防災関連情報**

- 指定緊急避難場所(屋内)
- 指定緊急避難場所(屋外)
- 市役所
- 市役所支所・出張所
- 警察署・駐在所
- 消防署・分署
- 医療機関等
- 市境
- 地区境
- 国道
- 県道
- その他道路

0 1:12,000 300m

測量法に基づく国土地理院長承認(使用)  
R 5JHs 455



**凡例**

津波浸水想定区域

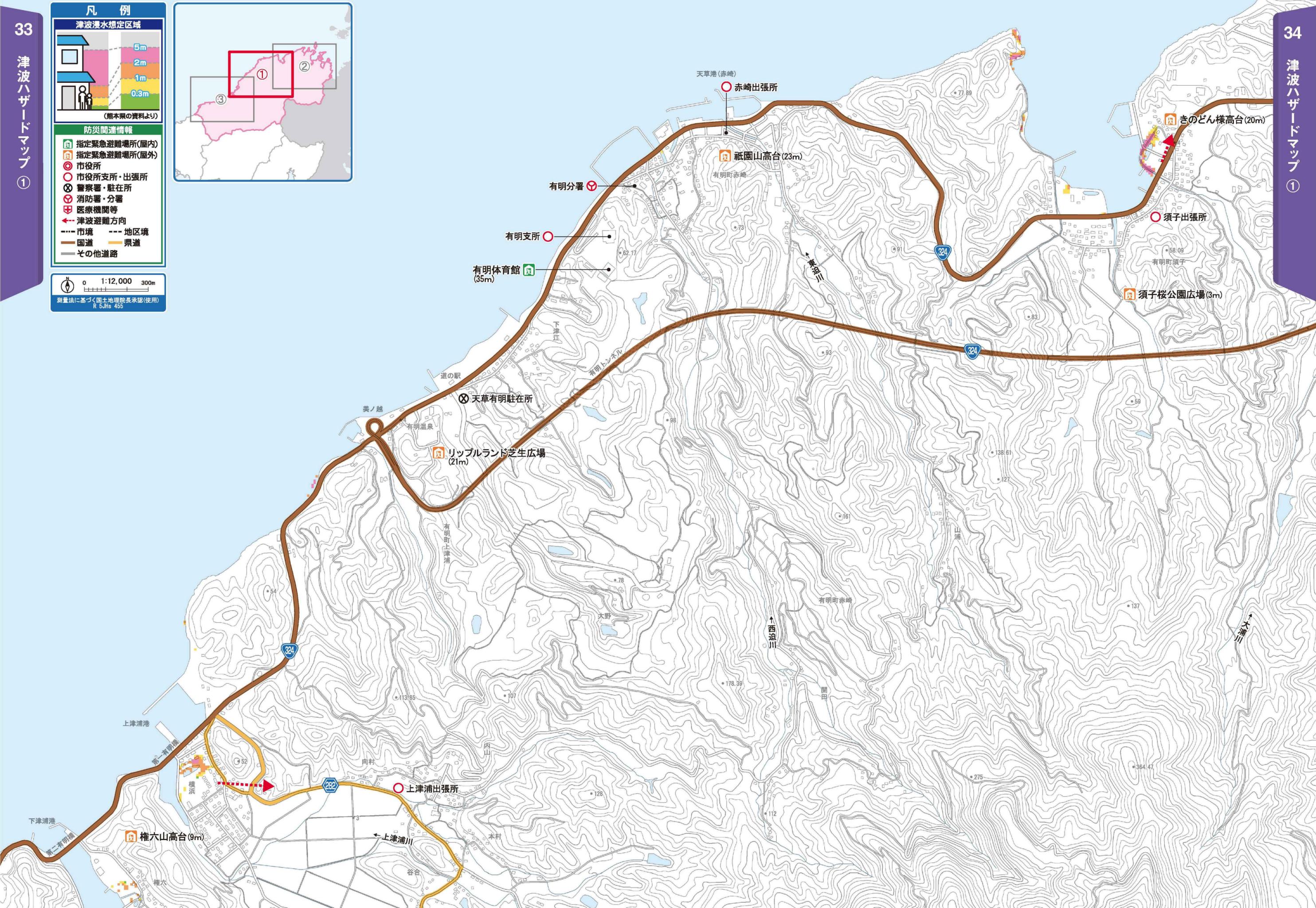
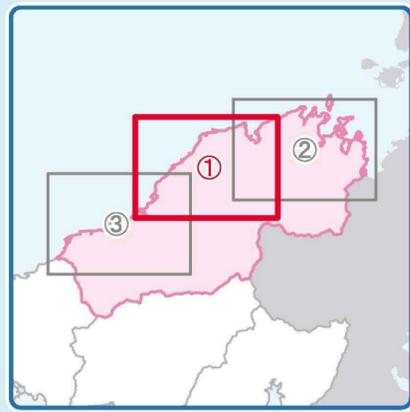
(熊本県の資料より)

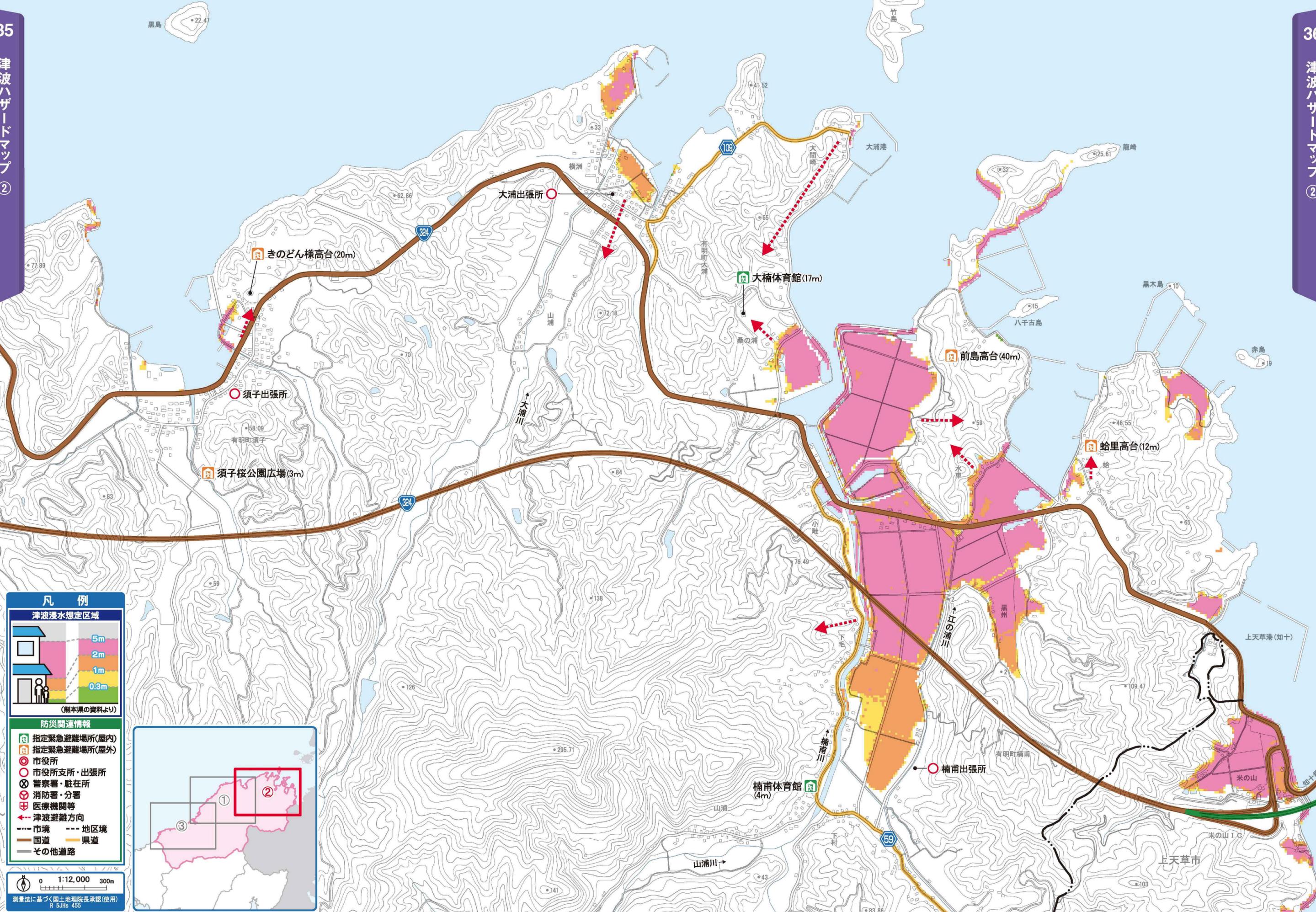
**防災関連情報**

- 指定緊急避難場所(屋内)
- 指定緊急避難場所(屋外)
- 市役所
- 市役所支所・出張所
- 警察署・駐在所
- 消防署・分署
- 医療機関等
- 津波避難方向
- 市境
- 地区境
- 国道
- 県道
- その他道路

0 1:12,000 300m

測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 5JHs 455





**凡例**

津波浸水想定区域

5m
2m
1m
0.3m

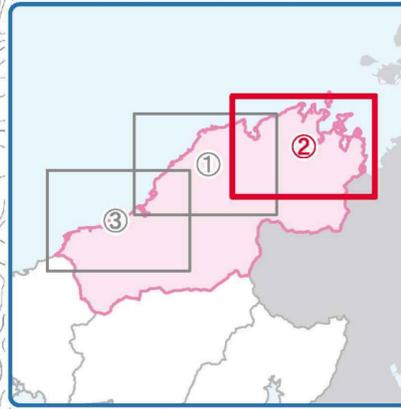
(熊本県の資料より)

防災関連情報

- 指定緊急避難場所(屋内)
- 指定緊急避難場所(屋外)
- 市役所
- 市役所支所・出張所
- 警察署・駐在所
- 消防署・分署
- 医療機関等
- 津波避難方向
- 市境
- 地区境
- 国道
- 県道
- その他道路

0 1:12,000 300m

測量法に基づく国土地理院長承認(使用)  
R.5.JHs 455





**凡例**

ため池浸水想定区域

5m以上
5m
2m
1m
0.5m

(天草市の資料より)

**防災関連情報**

- 指定緊急避難場所(第1次)
- 指定緊急避難場所(第2次)
- 指定緊急避難場所(第3次)
- 指定一般避難所
- 指定福祉避難所
- 市役所
- 市役所支所・出張所
- 警察署・駐在所
- 消防署・分署
- 医療機関等
- 市境
- 地区境
- 国道
- 県道
- その他道路

0 1:20,000 500m

測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 5Jfhs 465

